

# 令和3年度事業計画書

令和3年5月

一般社団法人日本電子回路工業会

## 令和3年度事業計画

各本部が実施を予定している令和3年度事業計画については、以下の通りとする。

### 1. 会員サービス

会員サービス本部を中心に、**会員ニーズを踏まえたサービスの提供**の為、次の方針で臨む。

- (1) 会員企業の地域分科会及び専門部会への参加推進
- (2) 「チャレンジ JPCA」施策の分科会、専門部会への周知徹底及び参加の推進
- (3) 地域分科会/専門委員会への参加インセンティブを明確化し、参加率を高める
- (4) アンケート等による会員ニーズを捉え、新たな「会員サービス」提供に向けた準備を行う
- (5) 業界の安全・安心を目指した「BCP 対策と安全衛生」への取組み
- (6) Web の積極的活用による基礎講座等の作成及び配信

### 2. ダントツものづくり推進

ダントツものづくり推進本部を中心に、**将来の競争力の源泉を産みだす生産性向上、製品力強化、原動力となる人財育成 (マネージメント・現場人材)、Vision 2020 実現から 2030 の展望**への為、次の方針で臨む。

- (1) 「ダントツものづくり」による生産性・品質向上の推進  
(国際競争力の強化のためのものづくりの体制、技術の強化)
- (2) 「標準化戦略と技術普及」による製品力強化の推進  
(規格の活性化、国際優位の構築、活用の仕組みづくり)
- (3) 次世代に向けた人材育成の強化  
(次世代の経営者/マネージメント及び現場改善リーダーの人材育成)

### 3. 事業

事業本部を中心に、**展示会事業を通じ、Challenge JPCA の実現に寄与する (特に工業会収益体質の改善、会員企業間の相互発展支援、会員相互の親睦に注力する)**為、次の方針で臨む。

- (1) 展示会にてオンラインプログラムを導入し、収益改善に寄与する。
- (2) 展示会出展者等から、会員入会を勧誘し、収支改善に寄与する。
- (3) 展示会に新規プログラムを導入し、相互発展支援に寄与する。
- (4) 展示会会期中に JPCA 委員会、セミナー、ワークショップ等を集中開催し会員相互の親睦に注力する。

#### 4. 管 理

管理本部を中心に、工業会経営の高効率・高品質化によるスリム経営、マニユフェスト遂行を支える強い事務局の実現の為、次の方針で臨む。

- (1) 円滑な工業会運営の実施
- (2) 規程に基づく事務局運営の定着
- (3) BCM の定着の推進
- (4) WEB 化の支援
- (5) 効果的な広報の推進

#### 5. 経営企画

経営企画室を中心に、Challenge JPCA の各種目標の達成と工業会の活性化の為、次の方針で臨む。

- (1) Speed & Communication
- (2) 各本部年度計画達成に向けて支援業務を実施する
- (3) Challenge JPCA の目標達成に向けた施策の検討を行う
- (4) JPCA 会員企業へ BCP/BCM 策定に関する情報発信を行う
- (5) JPCA Show のバーチャル化に向けてインフラを整備する

#### 6. その他

その他本会の目的を達成するために必要な事業を行う。

以上

# 2021年度 会員サービス本部 年度計画

## 2021年度 会員サービス本部 業務実施計画書

### 1. 会長マニフェスト

- 日本の電子回路工業界の国際競争力を強化する。
- JPCA会員企業の事業存続及び繁栄を支援する。
- JPCAの事業拡大と地位向上を図る。
- JPCAの相対的位置付けを明確化する。

### 2. 会員サービス本部ミッション

会員ニーズを踏まえたサービスの提供

### 3. 会員サービス本部方針

- 会員企業の地域分科会及び専門部会への参加推進
- 「チャレンジJPCA」施策の分科会、専門部会への周知徹底及び参加の推進
- 地域分科会/専門部会への参加インセンティブを明確化し、参加率を高める
- アンケート等による会員ニーズを捉え、新たな「会員サービス」提供に向けた準備を行う
- 業界の安全・安心を旨とした「BCP対策と安全衛生」への取組み
- We bの積極的活用による基礎講座等の作成及び配信

### 4. 課題

- 各分科会、専門委員会参加数の伸び

文書NO.	作成 '21年 1月28日			
	部署名：会員サービス本部			
作成	照査	承認		
記号	改訂内容	作成	照査	承認

## 5. 本年の業務実施計画

方針	重点実施事項	狙い・目標値 (成果物)	実施スケジュール				責任者	担当
			1Q	2Q	3Q	4Q		
1. 会員企業の地域分科会及び専門委員会への参加推進	1-1.各分科会、専門委員会及び委員による委員の委員会への勧誘 1-2.次年度事業計画の作成 1-3.新規入会企業への委員会参加勧誘	随時	↑	↑	↑	↑	栗原	各委員長
2. チャレンジJPCA施策の分科会、専門委員会への周知徹底及び参加の推進	2. 理事会報告の分科会長、委員長による報告の徹底 2-1.「チャレンジJPCA」施策理解の徹底及び参加推進 2-2.ふりんどばんどくシリーズWEB配信準備 2-3.ビジネスマッチング及びWebビジネス委員との情報交換 2-4.環境安全委員会、環境衛生WGとBCP委員会との情報交換	随時 WEB配信 WEB開催	↑	↑	↑	↑	山下	各委員長
3. 地域分科会/専門委員会への参加インセンティブを明確化し、参加率を高める	3-1.地域分科会、専門委員会の魅力ある事業計画の作成 3-2.分科会、専門委員会内での参加各社、委員のニーズの把握	次年度事業計画 委員会での要望の把握	↑	↑	↑	↑	鈴木	各委員長
4. アンケート等による会員ニーズを捉え、新たな「会員サービス」提供に向けた準備を行う	4-1.年1回(2~3月中旬)の会員サービス満足度調査の実施 4-2.満足度調査による要望を踏まえた施策の検討・提案・実施 4-3.BCP及び感染症等の情報収集	満足度調査報告 新規会員サービス報告	↑	↑	↑	↑	栗原	

# 2021年度 ダントツものづくり 推進本部 年度計画

## 2021年度 ダントツものづくり推進本部 業務実施計画書

### 1. 会長マニフェスト(新マニフェスト)に修正予定)

1. 日本の電子回路工業界の国際競争力を強化する。
3. JPCA会員企業の意見を集約提案する新組織(改革委員会)を設置する。
4. JPCAの行政施策や各委員会・部会の見直しを実施する。
5. JPCAの年度計画、予算編成の仕組みを改善する。
6. JPCAの事業拡大と地位向上を図る。
7. JPCA業務全体の効率化と簡素化を図る。
8. JPCAの相対的位置付けを明確化する。

### 2. ダントツものづくり推進本部ミッション

将来の競争力の源泉を産み出す生産性向上、製品力強化  
原動力となる人材育成(マネージメント・現場人材)  
VISION2020実現から2030の展望へ

### 3. ダントツものづくり推進本部長方針

1. 「ダントツものづくり」による生産性・品質向上の推進  
(国際競争力の強化のためのものづくりの体制・技術の強化)
2. 「標準化戦略と技術普及」による製品力強化の推進  
(規格の活性化、国際優位の構築、活用の仕組みづくり)
3. 次世代に向けた人材育成の強化

### 4. 課題

1. 1ものづくり(現場)改善:トヨタ生産システム/TOC等の活用、ダントツ生産性実現  
2ものづくり改善:シックスシグマ等の活用による、ダントツ品質実現
2. 1規格の①総合再編と普及活性化、および②次世代に向けた市場別規格の企画・構築  
2規格の戦略的構築、活用のための関連制度の構築、強化、国際規格化体制の再構築  
(コンサルティング、ロードマップ作成制度の強化、パワエレ・高品質車載・高周波関連規格)

21.3.3	赤岩計画修正、緑色追加	山本	作成	承認
20.2.25	赤色計画追加、修正	山本	作成	承認
19.1.30	青学計画追加、修正	山本	作成	承認
18.3.30	原案作成	山本	作成	承認
記号	改訂内容		照査	承認

### 文書No.

作成 21年03月3日  
部署名:ダントツものづくり推進本部

作成	照査	承認
		山本

## 5. 本年度の業務実施計画

方針	重点実施事項	狙い・目標値	実施スケジュール				責任者	担当
			1Q	2Q	3Q	4Q		
事業本部方針の策定 0. 次世代に向けた、製品・生産の国際競争力強化「JPCA POST VISION 2020ものづくり」の企画 0. 1インダストリー4.0の調査、デジタル人材活用計画、POST 2020ダントツものづくり企画立案 0. 2国際競争力強化のための次世代ものづくり強化の推進(高生産性・高品質:6シグマ・SDG生産等) 0. 3国際競争力強化のための高品質製品の価値向上(評価技術・規格・認証制度) (技術経営戦略委員会)								
1. 「ダントツものづくりプロジェクト」の推進 超高効率電子回路生産システム研究会(E-ESMAP)への業務委託推進 0) 生産性目標のJPCA標準の策定・強化普及		【3年間で業界生産性2倍を支援】 JPCA標準(KPI)の普及、現場向け改善指導の新規構築 (6シグマ品質指針2022の検討)					山本(穴戸)	
1. 1ものづくり(現場)改善 1) 基幹プロセス向け生産システムの研究開発 2) 現場改善の勉強会実施 3) 現場改善の指導会の実施		JPCA標準(KPI)の普及、現場向け改善指導の新規構築 (6シグマ品質指針2022の検討)					山本・児嶋(穴戸)	
1. 2新生産システム(半導体ものづくり)の開発 1) 新生産システム要素技術の研究 2) 生産システムの勉強会実施 3) 新生産システムの研究開発		「ものづくり事例集巻、ものづくり大賞」の新規構築 年間90回以上実施、段階的強化					小島・多田(穴戸)	
1. 3人材育成制度「JPCAアカデミー」(助成制度を活用)、の構築・活用 1) 経産省・厚労省主催「ものづくりスクール」の構築 2) アカデミー卒業生の資格認証、登録(カード発行)継続育成の企画・実施(フォローアップゼミナ、見学会、教材・事例DB利用推進) 3) 経営者の為のものづくりカライゼン講座(第3年度)実施、デジタル人材育成講座(生産シミュレーション・6シグマ等)検討 (標準化戦略委員会)		要案技術集作成 翌年度3件の登録(10)、ロボット/生産シミュレーションの導入支援【2】 「第5年度アカデミー」「第2年度新アカデミー(3分年)」開校【2】 (フォローアップゼミナ、見学会、教材・事例DB利用推進) デジタル人材育成講座(生産シミュレーション・6シグマ等)検討 新人教育システムの導入検討 (戦略的標準化認定組織の構築・推進)					山本(穴戸・坂本・三宅)	
2. 国際競争力強化のための、標準化戦略の推進 1) 統合規格部会の推進 (諮問会議設置運営 小林、山本(高原)) 2) 新分野の規格化、国際競争力強化 2.3コンサルティング部会の推進/強化(第2期設置) 2.4ロードマップ部会の推進 1) 将来市場・将来技術を予測し、商品開発、市場獲得で 国際競争力強化を支援する		【3年間で業界生産性2倍を支援】 JPCA標準(KPI)の普及、現場向け改善指導の新規構築 (6シグマ品質指針2022の検討)					坂内・菅沼 浦西(大倉) (高原・大倉) 高野(大倉) 浦西(大倉) 榎場(大倉) 宇都宮(大倉)	

# 2021年度 事業本部 年度計画

## 2021年度 事業本部 業務実施計画書

### 1. 新たなマニフェスト (Challenge JPCA)

1. ダントツものづくりの推進による教育活動推進
2. ビジネスチャンスの創出による会員企業間の相互発展支援
3. BCP/BCM活動による会員企業の経営リスク低減支援
4. WEB化・オンライン化の導入による工業会収益体質の改善
5. 工業会活動を通じての会員相互の親睦

### 2. 事業本部ミッション

展示会事業を通じ、Challenge JPCAの実現に寄与する（特に工業会収益体質の改善、会員企業間の相互発展支援、会員相互の親睦に注力す

### 3. 業務本部長方針

1. 展示会にてオンラインプログラムを導入し、収益改善に寄与する。
2. 展示会出展者等から、会員入会を勧誘し、収支改善に寄与する。
3. 展示会に新規プログラムを導入し、相互発展支援に寄与する。
4. 展示会会期中にJPCA委員会、セミナー、ワークショップ等を集中開催し、会員相互の親睦に注力する。

### 4. 課題

1. コロナの感染状況
2. オンラインプログラムの準備等コスト、経験/ノウハウの不足

記号	改訂内容	作成	照査	承認

文書No.	作成 2021年 1月27日	
	部署名：事業本部	
作成	照査	承認

## 5. 本年度の業務実施計画

方針	重点実施事項	狙い・目標値	実施スケジュール				責任者	担当
			1Q	2Q	3Q	4Q		
1. 展示会にてオンラインプログラムを導入し、収益改善に寄与する。	1-1. 21年展にて、基調講演を含むセミナーをオンラインにて開催（有償＝会員：3,000円、非会員：5,000円）する。	●有償参加者1,000人	↑					
2. 展示会出展者等から、会員入会を勧誘し、収支改善に寄与する。	2-1. 特に新規構成展（AaP、Edge Computing）出展者等から重点的且つ個別に入会勧誘を行う。	●新規会員3社	↑					
3. 展示会に新規プログラムを導入し、相互発展支援に寄与する。	3-1. 特に来場者に向けた新たなプログラムを導入する事により、より多くのブースを訪問する、より深くディスカッションする、より集中してブースを見る等に貢献する。	●2021年展にて新たな取り組みを3件行う	↑					
4. 展示会会期中にJPCA委員会、セミナー、ワークショップ等を集中開催し、会員相互の親睦に注力する。	4-1. 様々な事業を集約する事により、関係者がより集まり易くなり、人的ネットワーク構築にご活用頂けるイベントとする。	●2022年展より実現できる様に各委員会等に対し説明、要請を行う	↑					

# 2021年度 管理本部 年度計画

## 2021年度 管理本部 業務実施計画書

### 1. 会長マニフェスト

- 『ダントものづくり活動』の継続的発展を企図し、会員企業の生産性向上などの効率化をめざし、ものづくりアカデミーを通じての教育活動を進める。
- 『ビジネスチャンスの創出活動』を図り、ビジネスマッチングなどの活動を通じて会員企業間の相互発展を支援する。
- 『BCP、BCM活動』により会員企業の経営リスクの低減支援を行う。
- 『Web化・オンライン化の導入』を進め、会議形態を含めた業務の効率化と工業会が抱える収益体質の改善を目指す。
- 展示会、勉強会、専門部会、各委員会、地方分科会など、工業会行事を通じて会員相互の親睦を図る。

### 2. 管理本部ミッション

工業会経営の高効率・高品質化によるスリム経営  
マニフェスト遂行を支える強い事務局の実現

### 3. 管理本部長方針

- 円滑な工業会運営の実施
- 規程に基づく事務局運営の定着
- BCMの定着の推進
- WEB化の支援
- 効果的な広報の推進

### 4. 課題

- 円滑な工業会運営の実施  
1-1 第9回定時社員総会 1-2 理事会等 1-3 研修会等 1-4 分科会等
- 規程に基づく事務局運営の定着  
2-1 規程の運営状況の把握と補正 2-2 予算の立案と執行状況の把握と報告  
2-3 目標管理及び行動評価の円滑な運営 2-4 経理の実施体制の充実
- BCMの定着の推進 2-6 計画的な人材育成の実施  
3-1 工業会のBCPの運営・見直し
- WEB化の支援 4-1 WEB化推進の基盤整備
- 広報活動の推進  
5-1 広報活動方法の模索 5-2 認知度向上に資する広報活動や提供情報の模索

記号	改訂内容	作成	照査	承認

文書No.	作成 '21年 1月 26日 部署名：管理本部
作成	照査
	承認

## 5. 本年度の業務実施計画

方針	重点実施事項	狙い・目標値	実施スケジュール				責任者・担当	評価
			1Q	2Q	3Q	4Q		
1. 円滑な工業会運営の実施	1-1. 第9回定時社員総会の円滑な実施 第9回定時社員総会の円滑な開催 1-2. 理事会、業務執行役員会、本部長会議の円滑な開催 1-3. 研修会、勉強会の円滑な開催支援 1-4. 分科会、専門部会等の円滑な開催支援	5月 年10回等 9月、11月 随時	○	●	●	●		
2. 規程に基づく事務局運営の定着	2-1. 規程の運営状況の把握と必要に応じた補正の実施 規程及び細則の運営状況を常に把握し、必要に応じて変更を実施 2-2. 予算の立案と執行状況の適切な把握と報告 2-3. 目標管理及び行動評価の円滑な運営 職員の評価を1ヶ月以内に実施できるようにする 2-4. 経理の実施体制の充実 経理の担当の補充、IT体制の充実の検討、購場における現金取扱縮小の継続 2-5. 事務改善の継続 QC活動推進の継続 2-6. 計画的な人材育成の実施 全員の個別OJT計画の策定支援及び適切な研修実施	年3回の報告 1ヶ月以内の評価 1ヶ月以内の目標策定	○	●	●	●	立案 ★	
3. BCMの定着の推進	3-1. 工業会のBCPの運営と見直し							
4. WEB化の支援	4-1. WEB化推進の基盤の整備							
5. 効果的な広報の推進	5. 広報活動の推進 5-1 会員に支持される広報運営方法の模索 5-2 業界、工業会の認知度向上のための広報活動及び提供される情報内容の模索							

